

【保護者向け質問項目】 125名/203名

保護者向け質問項目		A:よくあてはまる	B:ややあてはまる	C:あまりあてはまらない	D:まったくあてはまらない	E:わからない
1	学校は、「PTA総会」「懇談会」「学校だより・学年だより」等を通して、保護者に教育方針や教育内容を適切に伝えている。	42.7%	49.3%	3.2%	0.0%	4.8%
2	学校は、不審者への対応や交通安全など安全面について適切に指導している。	46.0%	38.7%	9.7%	0.8%	4.8%
3	学校は、子どもたち一人一人を大切に、温かく指導している。	41.9%	51.7%	4.0%	0.0%	2.4%
4	子どものことで、気軽に学校に相談できる。	32.3%	56.4%	10.5%	0.0%	0.8%
5	我が子は、学校生活を楽しんでおり、友人関係も良好である。	44.4%	50.8%	4.8%	0.0%	0.0%
6	教職員定時退庁日をはじめとする働き方改革の取組を理解できる。	51.5%	31.5%	8.9%	1.6%	6.5%
7	我が子は、つきたい職業など、将来の夢や目標を持っている。	12.1%	38.7%	36.3%	8.1%	4.8%
8	「東安居っ子のスマートルール」について親子で話すことができた。	7.3%	43.5%	34.7%	8.9%	5.6%
9	我が子には、良いところがある。	78.2%	21.8%	0.0%	0.0%	0.0%
10	我が子は、学校であったことをよく話している。	35.5%	50.8%	12.1%	1.6%	0.0%
11	我が子は、地域の行事に参加している。	28.2%	46.8%	19.4%	4.8%	0.8%

【児童アンケート結果概要】 174名/185名

児童質問項目		A:よくあてはまる (ほぼ毎日)	B:少しあてはまる (週3以上)	C:あまりあてはまらない (週1以上)	D:まったくあてはまらない (月1以上)	E:評価できない
1	学校が楽しい。	56.4%	29.3%	8.6%	4.6%	1.1%
2	みんなで何かをするのは楽しい。	68.4%	26.4%	4.6%	0.6%	0.0%
3	授業に主体的に取り組んでいる。	46.8%	43.9%	8.1%	0.6%	0.6%
4	授業がよくわかる。	53.4%	36.2%	8.6%	1.2%	0.6%
5	先生は授業内容を一生懸命教えてくれる。	81.6%	16.7%	1.7%	0.0%	0.0%
6	道徳の時間には考えを深めることができています。	47.9%	42.8%	8.1%	0.6%	0.6%
7	いじめを見たら、大人に知らせたり、とめたりすることができる。	34.5%	41.9%	15.5%	5.2%	2.9%
8	将来の夢やめざす目標をもっている。	56.4%	23.0%	14.9%	4.0%	1.7%
9	郷土福井を大切にしたいという気持ちをもっている。	61.5%	31.0%	5.2%	1.7%	0.6%
10	授業でPC・タブレットなどのICT機器をどのくらい使いましたか。	37.4%	38.5%	23.0%	1.1%	0.0%
11	自分は、他の人の役に立っていると感じている。	28.3%	48.0%	17.9%	4.6%	1.2%
12	授業中、先生の話や友達の意見をしっかり聞いている。	54.1%	36.2%	8.6%	1.1%	0.0%
13	授業中、自分の意見や考えを周りの人に伝えている。	33.9%	45.5%	15.5%	4.0%	1.1%
14	自分には、良いところがある。	45.4%	36.8%	11.5%	3.4%	2.9%
15	自分は、読書や読み聞かせが好きである。	27.0%	38.5%	23.0%	9.2%	2.3%

【教職員向け質問項目（回答総数：18件）】

教職員向け質問項目		A:よくあてはまる(ほぼ毎日)	B:ややあてはまる(週3回以上)	C:あまりあてはまらない(週1回以上・あまりあてはまらない)	D:まったくあてはまらない	E:わからない
1	本校は、発達段階や児童生徒一人一人に応じた授業づくりに、熱心に取り組んでいる。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2	本校は、道徳の授業時間を確保し、心を見つめさせたり生き方について考えさせたりする指導に努めている。	38.9%	55.5%	5.6%	0.0%	0.0%
3	本校は、児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向け努力するよう、キャリア教育に力を入れている。	38.9%	50.0%	11.1%	0.0%	0.0%
4	本校は、関係機関と連携をとったり、校内で情報を共有したりして、気になる児童生徒に十分な支援を行っている。	94.4%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
5	本校は、児童生徒が郷土福井への関心を高めたり、大切に感じたりできる活動に十分取り組んでいる。	27.8%	61.1%	11.1%	0.0%	0.0%
6	本校は、スクールプランに基づき、目指す子どもの姿の実現に向けて協働して取り組んでいる。	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
7	子どもたちの効果的な学びのために、PC・タブレットなどのICT機器を、(1クラスあたり)どの程度使用しましたか。	53.0%	29.4%	17.6%	0.0%	0.0%
8	自分は、児童生徒が主体的に授業に取り組むために、見通しをもたせる工夫をしている。	44.4%	50.0%	5.6%	0.0%	0.0%
9	自分は、子どもたちの伝え合う力を育む授業づくりに努めている。	27.8%	61.0%	5.6%	0.0%	5.6%
10	自分は、体験的な学習や探究的な活動を授業に積極的に取り入れている。	16.7%	66.6%	11.1%	0.0%	5.6%
11	自分は、子どもたちの良い点やがんばっている点を積極的に認め、ほめている。	38.9%	61.1%	0.0%	0.0%	0.0%
12	自分は、授業や学級指導において児童とよい人間関係が築けている。	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%
13	自分は、特別な支援を要する児童に関する理解や指導力の向上に努めている。	33.3%	61.1%	5.6%	0.0%	0.0%
14	自分は、いじめを見逃さず、人権に配慮した言動に心がけている。	72.2%	27.8%	0.0%	0.0%	0.0%
15	自分は、様々な場面で児童の自己有用感を育成することを意識した指導を心がけている。	27.8%	66.6%	0.0%	0.0%	5.6%
16	自分は、月の勤務時間が60時間を超えないようにマネジメントしている。	44.4%	27.8%	27.8%	0.0%	0.0%
17	自分は、不審者への対応や交通安全など安全面について適切に指導している。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18	自分は、他の教職員と連携を図り、共に学び合いながら、教育活動を行っている。	72.2%	27.8%	0.0%	0.0%	0.0%

令和7年度 2学期 学校評価結果報告

① 保護者の皆様からの評価：お子さんの成長を支える「チーム」として

【集計結果の比較（主要項目抜粋）】

質問項目	1学期 肯定率(A+B)	2学期 傾向(A+B)
問6 働き方改革の理解	87.0%	83.0%
問7 将来の夢や目標	48.2%	50.8%
問9 我が子の良いところ	98.3%	100%

■ 成果：深まる信頼と温かなまなざし

「我が子には良いところがある(問9)」という回答が100%に達しました。1学期に引き続き、皆様がお子さん一人ひとりを大切に想い、その良さを認めていることが伝わります。この「認められている」という安心感こそが、お子さんの自信（自己肯定感）を育む一番の栄養です。

また、「教職員の働き方改革(問6)」についても、80%を超える皆様が肯定的に受け入れています。教職員が心身の健康を維持し、教材研究や児童一人ひとりと向き合う時間を確保することが、教育の質の向上に不可欠であるという考えをご理解いただいた結果だと受け止めています。その時間は、授業の準備やお子さんとの対話にしっかり充てていきます。

■ のびしろ：未来の夢をいっしょに育むきっかけに

一方で、「将来の夢や目標を持っている(問7)」という項目は50.8%となりました。1学期よりわずかに増えましたが、まだ「夢はこれから」というお子さんも多いようです。私たちはこれを「まだ夢がない」と捉えるのではなく、「これからたくさんの可能性に出会う、大切な準備期間」と考えています。

この結果を受け、学校では先生たちが「どうすれば子どもたちが将来にワクワクできるか」を話し合い、キャリア教育の進め方を見直しました。ご家庭でも「将来、どんな大人になりたい?」「あんなことができたなら楽しそうだね」と、未来について話していただきたいです。

② 児童の自己評価：みんなの中で育つ「自信」と「思いやり」

【集計結果の比較（主要項目抜粋）】

質問項目	1学期 肯定率(A+B)	2学期 傾向(A+B)
問1 学校が楽しい	90.6%	85.7%
問11 人の役に立っている	69.4%	76.3%
問13 自分の意見を伝える	75.3%	79.4%

■ 成果：自分の役割を果たし、伝え合う力

1学期の課題であった「自分は人の役に立っている(問11)」という実感が、約7ポイントアップしました。これは、運動会や音楽会などの行事、また日々の係活動や授業の中で、子どもたちが

「自分にできること」を見つけ、互いに認め合いながら取り組んできた成果です。ご家庭で育まれた「自分は大切な存在なんだ」という自信が、学校での「みんなのために頑張る」という行動へと、つながっています。

■ のびしろ：行事の「楽しさ」から、学びの「充実感」へ

一方で、「学校が楽しい（問 1）」という項目は 85.7%となり、1学期よりわずかに下がりました。これについては、体育大会や校外学習、マラソン大会、そして修学旅行といった、子どもたちが心待ちにしていた大きな行事が一通り終わった時期であることが影響していると考えています。

しかし、「授業がよくわかる（問 4）」という項目で、最高評価（よくあてはまる）をつけた児童の割合は、1学期（45.2%）を上回る結果となりました。大きな行事が一段落したことで、子どもたちが落ち着いて机に向かい、日々の学習を自分のものにできている証拠です。この「わかる！」「できた！」という学習面での確かな手応えをさらに深め、イベントの楽しさとはまた違う「知的なワクワク感」を実感できる学校づくりを進めていきます。

③ 教職員の自己評価：より良い教育を届けるための「意識改革」

【集計結果の比較（主要項目抜粋）】

質問項目	1学期 肯定率(A)	2学期 傾向(A)
問 3 キャリア教育	5.9%	38.9%
問 16 勤務時間管理	17.6%	44.4%

■ 成果：キャリア教育への意識改革と労働環境の適正化

1学期に重要な課題となっていた「キャリア教育（問 3）」への取り組みが、大きく前進しました。A評価（よくあてはまる）をつけた教職員が約 40%に向上したことは、学校全体にとって大きな一歩です。単に「将来の仕事」について学ぶのではなく、「生きるために必要な力を、どんな学習でどのようにしてつけていくか」を全ての授業で意識するよう、全教職員で取り組んだ結果です。

また、「勤務時間の管理（問 16）」についても改善が進みました。単に「早く帰る」ことを目指すのではなく、会議の効率化や ICT の活用で時間を生み出し、その時間を「授業の準備」や「お子さん一人ひとりとじっくり向き合う時間」に充てるための取り組みます。教員が心身ともに元気に教壇に立つことが、結果としてお子さんへのより良い指導につながります。

④ おわりに：これからの東安居小学校

1. 「ありがとう」が飛び交う学校に

向上した「人の役に立っている」という実感をさらに深めるため、学級や異学年での交流を大切にします。自分が誰かに貢献し、感謝される経験を通じて、揺るぎない自信を育てます。

2. 「知る喜び」を実感できる授業づくり

「学校が楽しい」という気持ちをさらに高めるため、日々の授業を磨き続けます。単に ICT を使わせるだけでなく、児童が「自分の考えが伝わった」「新しいことがわかった」と実感できるような、主体的で対話的な授業づくりを目指します。